

消防だより

火の用心

No.87



Tokamachi Fire Department

平成28年7月20日

特集

十日町地域救急

S

ステーション

病院から出動する救急隊 !!



特集 **+** 日町地域 救急ステーション

「日町地域救急ステーション」は今年5月から運用を開始しています。今号はこの救急ステーションについて紹介します。

an emergency station



1 設立までの経緯

- ◆救急ワークステーションの設置提案 平成20年9月
- ◆救急ワークステーション構想の策定 平成23年8月
- ◆新潟県と建設に係る協定の締結 平成26年12月
- ◆救急ステーション運用開始 平成28年5月

history

2 日町地域救急ステーションとは？

国が推奨するワークステーションの形態を、関係機関の協力のもとで、消防本部が県立日町病院内に合築する形で建設したものです。病院から救急出動することで、実習と検証を反復しながら、さらに高度な医療連携を目指します。救急ステーションには、救急救命士を含む3人の救急隊員と救急車1台が常駐し、救急出動に24時間対応します。

日町地域救急ステーション内 (①事務室②出動準備室③仮眠室)



3 救急ステーションの機能

- ◆救急隊員の実務研修の拠点 国などが定める救急隊員等の研修カリキュラムを履修します。
- ◆救急救命士の資格継続に必要な病院実習を実施します。
- ◆救急救命士の処置の質を担保するために必要な検証会を実施します。



ドクターカーの運用

◆救急現場へ医師の派遣が必要な場合に、日町病院から医師を乗せたドクターカーが出動することがあります。



大規模災害時の医師と救急隊員との連携強化

◆大規模災害時、災害派遣医療チーム等が地域中核病院である日町病院に集結した場合などに連携して活動します。◆新感染症等の大流行が想定される時にも、積極的な協力が可能になります。



救急隊員への効果的教育

◆救急隊員に対し、医師の指導に加え、経験豊かな指導救命士が教育を行い、救命士としての技術向上を図ります。



救急ステーションは、日町病院をはじめとする地域内の救急医療がより充実するよう積極的な協力をし、地域住民が安心して暮らせる環境づくりを担う拠点施設を目指します。

S T 隊 藤ノ木救命士

翌日 8時15分
消防本部帰署

翌日勤務小隊との交替のため、消防本部へ帰り、8時30分に業務終了

病院実習・救急訓練

事務処理

救急出動

S T 隊は、翌日の勤務終了まで、救急出動はもちろんのこと、救急報告書作成や病院実習、救急訓練をしながら、災害に備えています。

9時30分
S T に移動

小隊打合せ後、S T 隊は日町地域救急ステーションへ移動

9時00分
小隊打合せ

当日の予定などをS T 隊を含めて勤務小隊で打合せ

8時30分
小隊交替

前日勤務小隊と当日勤務小隊の交替(警防隊、救助隊、本署救急隊、S T 隊)

S T 隊 1 当務

Fire Topics

救急

**熱中症に
ならないために！**

◇室温をこまめにチェックし、エアコンや扇風機等を活用しましょう。
◇のどが乾かなくても水分補給をしましょう。

◇日頃から、栄養バランスのとれた食事と運動などを通して、暑さに負けない体づくりをしましょう。

熱中症の応急手当

- ★ 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる。
- ★ エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす。



採用

消防士募集
(十日町地域広域事務組合職員)

◇募集職種・人数

消防士(上級又は初級) 3人程度

◇試験方法

【第1次試験】

期日：平成28年9月18日(日)

試験：教養試験、消防適性検査、
作文、体力試験

【第2次試験】

期日：10月中を予定

試験：面接試験

◇受験申込み

7月11日(月)～8月19日(金)

※詳細については、ホームページをご覧ください。
ご覧になるか、消防本部及び消防署分署へお問い合わせください。

通信

**災害情報案内の
利用について**

十日町地域消防本部では、火災や救助などの災害発生時に、電話により災害情報を提供しています。

火災、救助及びその他の出動で、サイレン吹鳴時の災害情報の確認は、十日町地域消防本部の災害情報案内をご利用願います。

Tel 025(750)5031

御礼

**新庁舎見学会に
2,800人！**

平成28年3月13日(日)、新消防本部庁舎の一般見学会を開催しました。この見学会では、普段は見ることのできない119番を受信する通信指令室をはじめ、災害対策作戦室や出動準備室、職員の仮眠室など、ほぼ全館をご覧いただきました。

見学会では、「上の階から下の階に降りるための棒はないの?」、「仮眠室は何のためにあるんですか?」などなど、多くの質問もいただきました。

2,800人という大勢の皆様からご来場をいただき、本当にありがとうございました。



赤色灯

旧消防本部庁舎、西分署閉庁



両庁舎は、今年3月31日、40年以上の長きにわたる任務を無事終えることができました。この間、中越地震など大きな揺れにも見舞われました。閉庁時の引越越しの際、ロッカーなどがなくなつたあとを見て、「本当に満身創痍だったんだなあ」と感じました。

両庁舎は、3月まで地域の安心と安全という任務を担ってまいりましたが、この任務を無事に新庁舎へ引き継いだのも、それぞれの近隣にお住まいの皆様、そして管内住民の皆様のご理解・ご協力によるものと感謝の気持ちでいっぱいです。

旧庁舎で先輩方が築いた安心と安全の礎を、私たち後輩は新庁舎でさらに発展させていかなければなりません。

職員一同、気持ちも新たに、より一層の努力を重ね、地域の安心と安全に繋げていきたいと思っております。

(吉楽幸紀)

消防だより
火の用心



発行 十日町地域消防本部 〒948-0007 新潟県十日町市四日町新田1-4-4 番地
編集 総務課企画広報係 ■電話 025(757)0119 ■FAX 025(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-koukijip/ ■E-mail tft119@tokamachi-koukijip